保育理念





どもたちのでのは、子どもたちののをし、し子どものをに

める。そので、やとのをめながら子どものとをにい、ともにや

について　（）

3・4・5歳児　保育

3の子どもたちは、遊びをしてきくっていくです。「りたい、いたい、やってみたい」という子どもたちのちをにし、、充をわい、で主体的な「遊び」ができることが、子どもたちを、させるもなとえられます。

にれかなをして、よさをじながら、豊かなとのえをて、をにし、いやりのある子どもにするように、できる生活をえていきます。

 クラスとのつながりをえながら、３・４・５歳児 の異年齢児保育をやかに進め、異年齢児のにより子どものと、、、、いやり等うとともに、の、、を育てていきます。によりしているの良さもすることができる異年齢のわりをやしていきたいと考えています。

幼児クラスは、のはもちろん、３・４・５歳 を3つのグループ（ほし・つき・にじ）に分かれてに出かけたり、をしたり、にやして行くをたくさん作 っていきたいと えています。

子どもたちはひとりなるがあり、のペースはです。遊びのではだけれどをむことはきな子、はいだけど、びだけはな子もいます。子どもたちのを尊重し、子どものをばしてにつながるようにしていきたいと考えています。

子どもたちがちけるは、おです。子どもたちとにごすをじっくり過ごして頂くことが子どもたちの成長のバロメーターとなりますので、にしてき、子どもたちの成長を一緒にび、していきたいと思います。よろしくお願いいたします

をに職員となってをしていき、保護者のとに子どもたちをにし、を一緒に喜びっていきたいと考えます。よろしくおいします。

かなをるようめる。は、豊かなをめ、とにきをかけてのをる。

保育方針

びをして、のとをむ

されている、けれられている、よさをじながらする、ぶ力、しむ力をむ

やからのやに関する・・はかく受け止めわかりやすくする

保育目標

1. ともにでるくな子ども

・く、る、ぶなどでのを楽しむ。

・、、、などのしいをりし、のえをう

・のりのなことはでするをてる。

1. だちやをにし、いやりのある子ども



・友だちを思いやるを養う

・おいしいけ合う心を養う



・かでしさとたくましさをう

1. よくて、いて、える子ども

・のでへのを育てかな、、のを培う

・にくれ、豊かなをしてなりにをみたりじたり考えたりして、豊かなと

のえを培う

　お願い

・について

　　4からは、までってきます。しいは、をしてください。よろしくお願い致します。

　　0.1歳児クラスはまでりですが、２歳児クラスはからおへ行って頂きます。

について

　メールでもおらせしておりますが、コロナウイルスのがまだております。に入るにはマスクのにごください。

お知らせ

のしおりについて

　いたしました園のしおりにがありました。3月10日にいたからのをしたところがになっていることがわかりましたので訂正をおいします。

青梅市子どもて　➡　青梅市子ども家庭部子ども　・、に変更になりました。保育所等にたっての（令和5年度）のいわせをしてください。

担当　伊藤



　　について

　　では、0 からまる教育のとしての3つのがあり、に保育士は3つの視点をに保育をしなければなりません。その3つの視点をお知らせします

　　①「な人とちが通い合う」②「身近なものと関わり感性 が育 つ」③「やかに伸び伸びと育つ」

　　がいつも大事にしていく視点です。

　乳児保育 について

　０・１・２歳児　保育　（で過ごすようなやかな担当制）

保育園では、でいつもにいてくれるしい保育者にまれち着いて過ごすことができるに代わるの場所でありたいとえています。

クラスでは、1人の保育士がを担当し保育します。（するお子さんだけをするということではありません）１対１でえ等のやのお手伝いをする育児担当制をし、のお母さんとしてしく接し、子どもたちとのがよりいものとなるようにわっていきます。はみんなでに「いただきます」をせず、一人一人のリズムに合わせて、の差を付け食べ始めます。一人ずつ丁寧に関わり、ゆっくり食べることができることで、べると楽しく食べるびを保育者とに味わうことができるということにつながっていきます。

びについては、にあった遊びやをえ、子どもたちがでんで遊び、きな遊びを見つけたらじっくり遊びに取り組むことができるようにをえて行きます。

のの流れをさずに生活することで、子どもたちののと保育者とのを大切にしながら保育をしていきます。